

地域のみんなで助け合い 支え合うまちづくり

急病などで手助けが必要なとき、近所の方ならすぐに駆けつけられます。悩みごとを抱えている方がいれば、いつものあいさつで変化に気付くこともあるでしょう。同じ地域に住む方たちだからこそ、互いに助け合えることがあります。そんな地域ぐるみで支え合うまちづくりを進める、福祉のまち推進センターを紹介します。

だれもが安心して暮らせる地域社会

少子・高齢化が進む中、子育てや親の介護、また自身の加齢など、人生のさまざまな段階で、手助けしてくれる人や相談相手が身近にいない不安な状況に置かれることがあります。そんなとき、地域で互いに支え合う仕組みがあれば、安心して生活できるようになります。

全市的に実施している福祉のまち推進事業は、幅広い市民の参加により、地域ぐるみ

で支え合う環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることを目指しています。地域住民の日常的な支え合いとボランティアによる福祉サービスの推進を基本目標に、各地区の福祉のまち推進センターが中心になって活動を展開しています。

福祉のまち推進センターは、市民による自主的な地域福祉活動の拠点です。厚別区には、連合町内会単位に六カ所開設し、それぞれの地区の実情に合わせて、日常生活の支援、交流、研修といったさまざまな活動を行っています。

福祉推進員と住民協力員が活動の核

日常的な支援活動(下欄)では、福祉推進員は安否確認などの見守り、住民協力員は家事や話し相手など、日常生活の延長上で行うことができる範囲のことを行っています。同じ地域に住む方たちだからこそできる、きめ細やかで継続的な見守りが、問題を小さくしながら、手遅れになることを防ぎます。また、日常的な支援活動で解決できない問題については、

日常的な支援活動



相談

民生・児童委員
福祉のまち推進センター
顔なじみの民生・児童委員の訪問や、福祉のまち推進センターで相談を受けます



見守り

福祉推進員
対象世帯を定期的に訪問し、その時々の様子を見守り、必要に応じて住民協力員へ連絡します



助け合い

住民協力員
買い物・病院への付き添いやごみ出し、話し相手などの日常的な援助活動を行います

